1ページ

飯田市歴史研究所ホームページ：http://www.city.iida.nagano.jp/iihr/

飯田市 歴研ニュース

News Letter No.35 The Iida City Institute of Historical Research

2008年8月1日 発 行

飯田市歴史研究所
〒395-0002
長野県飯田市上郷飯沼3145
電　話　0265-53-4670
ファクシミリ　0265-21-1173
E-mail iihr@city.iida.nagano.jp

第6回 飯田市地域史研究集会を開催します

飯田市地域史研究集会は、飯田・下伊那地域をフィールドとする研究者および地域の人々が、日常の研究活動の成果を発表する目的に、平成15年度から５回開催してきました。今年度は、シンポジウム「伊那谷の古墳と古代の舎人軍団―大王家の親衛騎兵隊と古代の飯田―」を中心にして、研究報告会とともに開催します。

2008 9/20（土）・9/21（日）

会場 **飯田信用金庫本店 2階大会議室**（飯田市本町１丁目２番地）

- ●参加料　500円（20・21日を通して、資料代）
- ●事前申込み不要（関連企画9/22の古墳見学会は申込みが必要です）
- ●出入りは自由、高校生以下は無料

■主催　飯田市、飯田市教育委員会（歴史研究所／美術博物館／図書館／生涯学習・スポーツ課）
■後援　学術創成研究費「目録学の構築と古典学の再生」研究グループ、長野県教育委員会、長野県考古学会、信濃史学会

シンポジウム 伊那谷の古墳と古代の舎人軍団 ―大王家の親衛騎兵隊と古代の飯田―

飯田・下伊那地域の古墳の本格的な築造は、５世紀中ごろ以降に馬を受け入れたことから始まったことがこれまでの調査研究から明らかにされています。そして、６世紀以降、千曲川流域とともに科野国（しなののくに）の中心となり、科野国造（くにのみやつこ）の一族が活躍しました。古墳時代の遺跡・遺物を考古学から見直し、あわせてヤマト王権（大王家）との強い結びつきを示す宮号舎人（きゅうごうとねり）氏族と古代の牧について文献学から迫ることで、古代史において飯田・下伊那地域が果たした役割を明らかにしていきます。

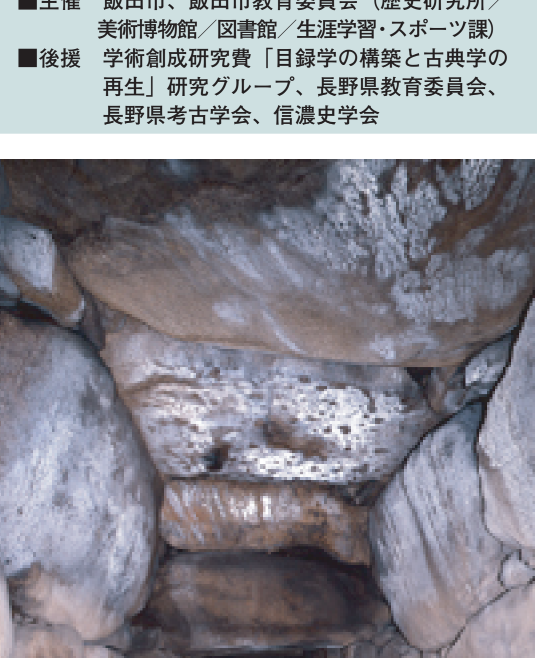
9/20（土）

- 9：45 受付開始
- 10：30 セッション１　古代の牧と宮号舎人氏族
  - 山口英男さん（東京大学史料編纂所）「牧の経営」
  - 田島　公さん（東京大学史料編纂所）「科野の宮号舎人氏族―金刺（かなさし）舎人・他田（おさだ）舎人・久米舎人―」
- 14：00 記念講演「東国の国造」
  - 講師　吉村武彦さん（明治大学大学院長）
- 15：15 セッション２　古墳と騎馬集団１
  - 土生田純之さん（専修大学）「東日本からみた伊那谷の古墳」
  - 鈴木一有さん（浜松市）「東海からみた伊那谷の古墳の特質」

9/21（日）

- 9：00 セッション３　古墳と騎馬集団２
  - 風間栄一さん（長野市教育委員会）「古墳時代シナノの地域性からみた伊那谷の古墳」
  - 渋谷恵美子（飯田市教育委員会）「馬駆ける伊那谷―古墳出現の背景を探る―」
- 13：15 **歴研賞表彰**
  飯田・下伊那の地域史研究における優れた研究や活動を表彰します。
- 13：30 **研究報告会**―地域史に関する研究成果の報告―
  シンポジウムのテーマ以外の地域史研究の成果を報告します。
  坂本広徳さん（平成19年度研究助成取得者）／飯田市立竜丘小学校６年２組の皆さん／小泉明裕（飯田市美術博物館学芸員）／竹ノ内雅人（飯田市歴史研究所研究員）

9/22（月） 関連企画　飯田の主要な古墳・考古資料館見学会（詳しくは２面をご覧ください）



▲近畿地方の影響を受けた横穴式石室（竜丘・馬背塚古墳前方部）

▶副葬された馬具（上郷・宮垣外遺跡出土）

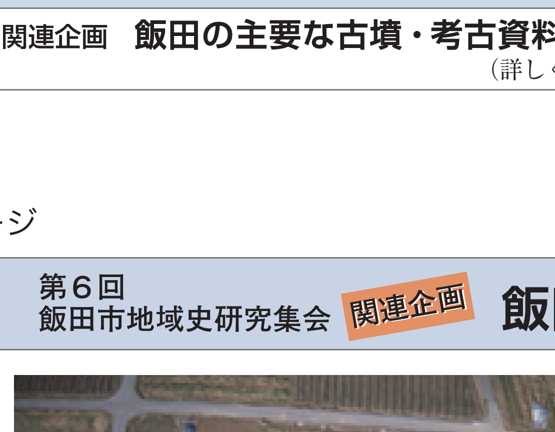
2ページ

第６回 飯田市地域史研究集会 関連企画 飯田の主要な古墳・考古資料館見学会

研究集会に関連して、希望者を対象に市内の主要な古墳や考古資料館の見学・説明を行い、研究集会の内容についてより一層理解を深める場としていきます。

- 日　　時：９月22日（月）午前8:30集合、午後12:30解散予定
- 集合場所：飯田市役所裏駐車場
- 移動方法：マイクロバス
- 見学予定：竜丘・座光寺地区の古墳、考古資料館
- 募集人数：22名　事前の申込みが必要です。定員に達したところで締め切ります。
- 参 加 費：１人400円（入館料・保険料・資料代）
- 申 込 み：住所・氏名・電話番号・生年月日を明記のうえ、往復はがきで９月10日（水、必着）までに歴史研究所に申込んでください。
  （１葉にて複数名の申込みも可。電話・メールでの受付はしませんのでご注意ください）

〈申込み先〉
〒395-0002　飯田市上郷飯沼3145　飯田市歴史研究所
〈問い合わせ〉
電話 0265-53-4670　Eメール iihr@city.iida.nagano.jp

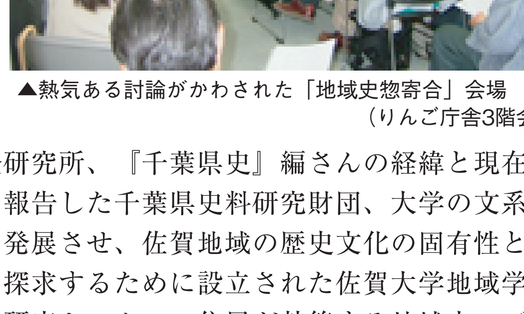


▲上空から見た塚原二子塚古墳（竜丘）

▶溝口の塚古墳（上郷）石室に副葬された武具

開催報告 第１回 地域史惣寄合 ―地域史の現在―

5/31（土）～6/1（日）



▲熱気ある討論がかわされた「地域史惣寄合」会場（りんご庁舎3階会議室）

今回初めて開催された地域史惣寄合（そうよりあい）では、各地の地域史研究に携わる方々、関心のある市民の方々80名程が集まり、地域史の現状や課題について２日間にわたって討論が行われました。

基調講演、大山喬平先生（京都大学名誉教授）「地域史惣寄合への一つの提言―地域史の方法にふれて―」では、ムラの歴史を中世からたどっていくことの必要性、その方法として「地域の戸籍簿をつくる」という方法が提唱されました。

各地域の地域史の取り組みを報告する円座１「地域史の現在１ 市町村」では、４地域の報告がありました。文化運動として地域史・自治体史に取り組む和泉市、姫路市に合併したなかで住民が町史編さんを行う香寺町（こうでらちょう）、市民が主体的に調べることができるような条件を整備する尼崎市、いくつかの活動の中から建築史を中心として活動を報告した飯田市歴史研究所と、様々な取り組みが報告されました。

円座２「地域史の現在２ 県、大学、民間」では、金沢城・城下町を出発点として考古・建築・土木技術と連携を取りながら学際的に研究を進める金沢城調査研究所、『千葉県史』編さんの経緯と現在の課題を報告した千葉県史料研究財団、大学の文系基礎学を発展させ、佐賀地域の歴史文化の固有性と普遍性を探求するために設立された佐賀大学地域学歴史文化研究センター、住民が執筆する地域史のブックレット作りを通して研究活動に取り組む上田小県近現代史研究会の各活動内容が報告されました。

全国で、地域の歴史を自ら調べ、残していこうとする活動が起こっていることが、今回の惣寄合で改めて確認できました。そうした活動に参加している方々とつながりが出来たことも、一つの成果でした。また、それぞれの地域史に取り組む方法は様々で、そこから描き出される地域の歴史も多様でした。それぞれの地域が様々な歴史をたどって作られてきたことが、地域の歴史を考える必要性を生み出していることを感じさせられた会でした。

3ページ

座光寺史料調査会を行いました

ビデオを用いて歴史史料の現状記録調査を行うスタッフと参加者の皆さん

５月24、25日の２日間にわたり、座光寺麻績史料館（自治振興センター隣）にて、公開での史料調査会を開催しました。

座光寺地区には、古い史料を所蔵しているお宅が多く、また、旧村役場文書を始め、機関・団体等の史料も多数残されています。しかしこれらは、今のうちに整理・保存の措置をしておかなければ、世代交代や建物の新改築などによって散逸してしまうおそれがあります。そんななか地元の方々から、地域の歩みを知るための史料を守り、活用していきたいとのお話をいただきました。そのためには、市民の方々に史料調査を実際に見て理解を深めていただければと考え、地域自治協議会を始め、地元の皆さんのご協力を得て、調査会を実施する運びとなりました。

当日は、研究所スタッフ４名のほか、座光寺地区在住の方16名、東京大学の院生２名に参加していただきました。調査させていただいた今村八束家は、江戸時代には庄屋を勤め、また国学者を輩出したことでも知られます。

史料の入っている状態（現状）を、ビデオなどを使ってできる限り詳細に記録しつつ、１点ずつ取り上げ、番号を付けていきました。作業をしながら、史料に書かれていることについて参加者同士で話し合う場面もしばしばみられ、また、地区の方々にも実際の作業に加わっていただきました。

調査会は今後も継続的に開催していく予定です。座光寺地区内外の皆さんのご参加を呼びかけてまいりますので、よろしくお願いします。

市民の声　歴史史料調査会に参加して

宮下淳子さん（座光寺在住）

私の住んでいる座光寺恒川（ごんがわ）は、埋蔵文化財包蔵地に含まれ、足元にすごいお宝が埋もれているかもしれないロマンチックな所です。そんなわけで、調査会に行ってみました。

今村八束さん宅の古文書は、江戸時代後期から明治期にかけてのもので、田んぼの区分け、昔の暦、年末の食品リストなどが出てきました。文字を読み解く研究員の方と、見学に来ていた昔を知る地元の人とのやりとりで、一つの文書の内容の幅が広がる感じは、とても面白かったです。まったく素人の私も実際の作業に参加させていただき、とても楽しく勉強になりました。ありがとうございました。

リレーエッセイ　古代の伊那谷独自の社会像とは…？

土生田純之（はぶたよしゆき）（顧問研究員・専修大学教授）

このたび、第６回の飯田市地域史研究集会が開催される。テーマは「伊那谷の古墳と古代の舎人軍団」である。多くの人は意外に思うかもしれないが、伊那谷の古墳の築造総数は他に比して決して多くない。また、前半期の古墳は極端に少ない。それにも関わらず、伊那谷の古墳が全国的に注目されるには、もちろん相当の理由がある。

一つは５世紀中葉から６世紀代にかけて、前方後円墳の築造数が異常ともいえるほど多いことである。一方、群集墳が少ないかわりに弥生時代の系譜を引く低墳丘墓の多いことが注目される。さらには馬犠牲土坑の存在や造り付け竈（かまど）を持つ住居など、渡来系（朝鮮半島起源）集団の実在が確実視され、副葬品にしめる馬具出土数の多さとともに渡来系文物にも目を引くものがある。

以上の事実は、前方後円墳（首長墓）の多さが地域社会の成熟度を単純に表すものではないという警告を提示している。今回の研究集会は、単純な「畿内」中心の思考を改め、伊那谷独自の社会像を示す絶好の機会であると考えている。

歴研ゼミだより　8・9月の予定

歴史研究の方法を学んでいただくための講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

近現代史ゼミ
地域社会史入門―飯田町の記憶を探る―
■開催日　第２・第４木曜日　８月28日／９月11日・25日
■時　間　午後７時～８時40分
■担　当　田中雅孝（調査研究員）

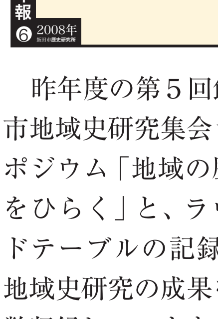
現代史ゼミ
地域社会とグローバリゼーション
■開催日　隔週水曜日　８月６日・20日／９月３日・17日
■時　間　午後７時～８時40分
■担　当　鬼塚 博（研究員）

建築史ゼミ
建築と町並みの見方
■開催日　第２火曜日（８月は休み）９月９日「近代化遺産」「町家」
■時　間　午後７時～８時40分
■担　当　金澤雄記（研究員）

※「近世史ゼミ」は定期開催は未定ですが、多和田雅保調査研究員を講師に、８月19日（火）午後７時から、飯田市歴史研究所で行います。

4ページ

近刊紹介『飯田市歴史研究所年報⑥』

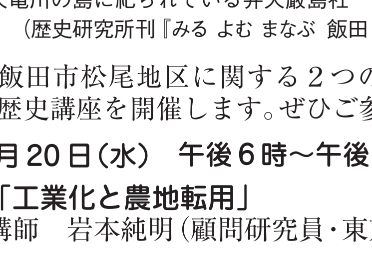


昨年度の第５回飯田市地域史研究集会シンポジウム「地域の歴史をひらく」と、ラウンドテーブルの記録や、地域史研究の成果を多数収録しています。

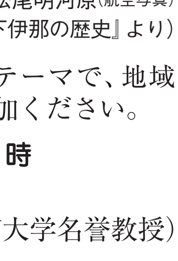
【内容】
- ■シンポジウム「地域の歴史をひらく」ラウンドテーブル
- ■研究ノート
  - ・下伊那地方におけるミチューリン農法の受容と衰退
  - ・近世南信山間部における村落構造
- ■『史料で読む飯田・下伊那の歴史』㊤山の恵み
- ■調査報告
  - ・「飯田藩家中・野原家文書」現状記録調査報告・解題
  - ・戦後岩手上郷分村調査報告
  - ・養蚕が民家建築に与えた影響　ほか

B5判　定価1800円（税込）
飯田市歴史研究所編　2008年８月末発行予定

地域史講座 シリーズ みるよむまなぶ 飯田・下伊那の歴史



天竜川の島に祀られている弁天厳島社



松尾明河原（航空写真）
（歴史研究所刊『みる よむ まなぶ 飯田・下伊那の歴史』より）

飯田市松尾地区に関する２つのテーマで、地域の歴史講座を開催します。ぜひご参加ください。

８月20日（水）　午後６時～午後９時

「工業化と農地転用」
・講師　岩本純明（顧問研究員・東京大学名誉教授）

「天竜川西岸の大きな村」
・講師　吉田ゆり子（顧問研究員・東京外国語大学教授）

・場所　松尾公民館　・事前申込みは不要です

申込み・問い合わせ　飯田市歴史研究所　☎0265-53-4670　FAX 0265-21-1173

歴研日誌

6月
- ■１日㊐第１回地域史惣寄合―地域史の現在―（２日目）
- ■２日㊊近衛兵聞き取り調査
- ■３～４日　竜峡中学校職場体験学習受け入れ
- ■３～５日　歴史的建造物調査（川路）
- ■７～８日　飯田アカデミア第43講座「㊤近世の国際関係と脱鎖国論　㊦近世日本の世界図と世界観」（講師：荒野泰典さん）
- ■８日㊐平沢たき子さん聞き取り調査―天龍社社員賄い係として働く
- ■10日㊋建築史ゼミ「家相図」
- ■11日㊌現代史ゼミ「必需食料品の不足」
- ■21日㊏近世史ゼミ「村入用」
- ■23日～７月14日　20年度市公文書移管
- ■24～26日　竜東中学校職場体験学習受け入れ
- ■25日㊌現代史ゼミ「人口増加と米の移入」／現状記録調査（南原区民センター）
- ■26日㊍近現代史ゼミ「聞き取り経過報告」
- ■27日㊎県史料保存活用連絡協議会講習会（長野市公文書館）／歴史的建造物調査
- ■28日㊏地域史講座「水害を被った村」

7月
- ■２日㊌歴史的建造物調査
- ■８日㊋建築史ゼミ「農村舞台・丘の上の建物」／飯田東中学校職場体験学習受け入れ
- ■９日㊌現代史ゼミ「産業の中心部のもろさ」
- ■10日㊍近現代史ゼミ「文献講読『日本列島にみる中央と地方』」
- ■10～11日　歴史的建造物調査
- ■13日㊐本棟造り見学会（大瀬木）
- ■15日㊋上郷高齢者学級「下伊那の満州移民」講演／飯田東中学校職場体験学習受け入れ
- ■19～20日　飯田アカデミア第44講座「軍隊と銃後活動」（講師：上山和雄さん）
- ■23日㊌現代史ゼミ「ビデオ "Tar Sands: Canada For Sale"」
- ■24日㊍近現代史ゼミ「文献講読『日本列島にみる中央と地方』」
- ■25日㊎地域史講座「写真で読む中心市街地のにぎわい」
- ■25～27日　部奈文書現状記録調査
- ■26日㊏高校生を対象としたオープンキャンパス「歴史学オリエンテーション」
- ■27～30日　旧南信濃村役場文書調査
- ■28日㊊高森町役場職員組合「平和学習会」講演
- ■30～31日　山梨県富士ヶ嶺開拓地聞き取り調査

■継続調査　今村八束氏所蔵文書、森本信正氏所蔵文書、北原嘉雄氏所蔵文書、岩戸久義氏所蔵文書、本多広文氏所蔵文書、松田初美氏所蔵田中伍市関係史料、上松家所蔵文書、部奈一朗氏所蔵文書、菊池謙一史料、中原謹司史料、栖操氏史料、飯田図書館移管新聞、岡田昭夫家文書、南原区民センター所蔵文書、飯田市役所本庁移管文書、旧南信濃村役場所蔵文書

８月・９月の催事スケジュール

８　月	2008	９　月
金	1	月
土	2	火
日	3	水 現代史ゼミ
月	4	木
火	5	金
水 現代史ゼミ	6	土
木	7	日
金	8	月
土	9	火 建築史ゼミ
日	10	水
月	11	木 近現代史ゼミ
火	12	金
水	13	土
木	14	日
金	15	月
土 美博まつり	16	火
日 美博まつり	17	水 現代史ゼミ
月	18	木
火 近世史ゼミ	19	金 研究員会議
水 地域史講座／現代史ゼミ	20	土 第６回地域史研究集会
木	21	日 第６回地域史研究集会
金	22	月 古墳見学会
土	23	火
日	24	水
月	25	木 近現代史ゼミ
火	26	金
水	27	土
木 近現代史ゼミ	28	日
金	29	月
土	30	火
日	31	

□開所日　■休所日

開所時間　午前９時～午後５時
休 所 日　日曜日、月曜日、祝日、12月29日～１月３日